

## 事業計画書

1 事業名	「ぴ～すけハイスクール」事業（高校生による聞き書き地域防災）
2 事業区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災教育（地域弱者支援）</li> <li>● 高大連携</li> <li>● 情報スキル</li> </ul>
3 現状の課題	<p style="text-align: center;">（地域防災意識の欠如、自治公民館加入率の低下）</p> <p>地域での人のつながりが低下している。若者の地域離れ。災害時における自発的組織的な助け合いが広がりにくい。</p>
4 事業の目的	<p style="text-align: center;">（聞き書きによる地域への関心、ICT 活用）</p> <p>高校生が地域の古老や自治公民館長、民生委員、消防団長などに過去の災害や防災の実態を取材し、ICT「ぴ～すけ」活用の可能性を探る。その成果を大学生が冊子にまとめ公表する。若者の対話力や表現力を培い、地域への関心を高める。</p>
5 事業の内容	<p>① 具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケート調査（地域防災意識の醸成）</li> <li>● 熟議「ハイスクールカフェ」（モチベーション養成）</li> <li>● 高校生による聞き書き取材（企画力、対話力育成）</li> <li>● 冊子作成、成果報告（表現力、プレゼン力育成）</li> </ul> <p>② 実施場所</p> <p>熟議「ハイスクールカフェ」：宮崎公立大学 取材地域：宮崎県内全域 成果発表：宮崎公立大学</p> <p>③ 対象者</p> <p>調査取材：高校生（ボランティア部、生徒会、その他） （県私立30校×4名、120名） 取材対象：古老、自治公民館長、民生委員、消防団長など 冊子編集：大学生（Web サイトアップを含む） 成果発表：小学生、中学生、高校生、大学生、一般</p> <p>④ 告知方法</p> <p>各高校への参加要請文書、チラシ、Web サイト、Facebook、マスコミなど。</p>

<p>6 事業実施 スケジュール</p>	<p>5月：県内各高等学校に参加要請          6月：アンケート調査          7月：第1回熟議「ハイスクールカフェ」          （調査結果を元に地域防災への意識を高める）          7～11月：聞き書き          計画づくり（質問内容、連絡先、取材機材）          地域を数回訪問（地域防災の実態、活動者の記録化）          レポート作成（テーマ、構成、写真、作文指導を含む）          12月：第2回熟議「ハイスクールカフェ」          （経過報告を元に地域防災のあり方を協議）          3月：成果の発表・フォーラム（小・中学生、大学生、一般参加）          3月：冊子『高校生による聞き書き地域防災』作成（大学生）          常時：Webサイトでの経過報告（大学生）</p>
--------------------------	---

## 事業効果分析

<p>1 事業の社会貢献性（公益性）</p>	<p>聞き書き取材を通して自然や生命、助け合いについて関心を高め、要援護者や障害者支援を含め、個人が地域で生活する意味を考えさせ、地域防災の意識を高めることができる。</p>
<p>2 事業のニーズ・優先度</p>	<p>高校生が古老や自治公民館長、民生委員、消防団長などとともに地域について語る場が少なく、聞き書き取材を通して関心を持ち、宮崎県における地域防災や生命の尊さについて学ぶことができる。</p>
<p>3 事業の先駆性・特色</p>	<p>1, 高校生による全県的な聞き書き取材は初めての試みである。          2, 聞き書きにより、古老や地域住民との間に対話が育まれる。          3, 要援護者、障害者へのICT活用で、効果的な安全安心確認ができる。</p>
<p>4 市民・地域への波及効果</p>	<p>1, 冊子作成で県民へ「宮崎の地域防災」をアピールできる。          2, 聞き書き取材を通して自治公民館活動への関心を高めることができる。          3, 災害時におけるICT活用の理解を広めることができる。</p>
<p>5 翌年度以降の計画及び発展性</p>	<p>小学生、中学生へと聞き書き取材の手法を伝えることで、次世代を担う若者に地域防災とコミュニティ形成の意識を醸成する。地域住民とともに新たな青少年の課題解決能力を培う。</p>

事業主体：宮崎公立大学ネットワーク研究室（代表：辻 利則） tel/fax 20-4855

研究分担：NPO 法人みやざき教育支援協議会（代表：亀澤克憲）